

THE ROTARY CLUB OF TOTTORI NORTH

鳥取北ロータリークラブ

2019
2020

国際ロータリーのテーマ

会 長……小林 弘尚 副会長……宮崎 正彦 幹 事……松本 啓介
 会 計……入江 容子 SAA……千金 周一 活動記録担当リーダー……森下 泰年



例会場:ホテルモナーク鳥取 例会日:火曜日12:30~13:30

Tel.24-3536 Fax.29-6741

■創 立:昭和36年2月23日 ■事務所:鳥取市扇町22-1 山陰合同銀行鳥取駅南ビル

E-mail kitarc@infosakyu.ne.jp http://www.infosakyu.ne.jp/kitarc/

2019年11月26日(火)

第2852回

今週の例会

- ◆ロータリーソング
四つのテストの歌
◆献立
100万ドルミール
- ◆委員会事項 入会記念日御祝
◆卓話
「里山整備参加報告」
地域奉仕委員会
※例会終了後、60周年実行委員会

2019年12月3日(火)

第2853回

次週の例会

- ◆君が代・奉仕の理想
◆献立 和食
◆委員会事項
誕生日御祝
- ◆年次総会
※例会終了後、定例理事会1階「梨花の間」

先 週 の 例 会

2019年11月19日 (火)

会長挨拶

今日は「何故日本人は忘年会をするのか」について考えてみました。

外国人が日本に来て、戸惑うことの一つに忘年会があります。12月に入ると連日連夜あちこちでドンチャン騒ぎ。街には千鳥足。電車に乗ればプーンと酒の匂い。「嫌なことは水に流して、新しい気持ちで新年を迎える」、その根源は輪廻・無常観といった仏教の思想に由来するものです。

日本では時間は年々新しくなるものであり、過去のことは忘れて、新しい年を迎えることが縁起が良いとされます。これに対してヨーロッパでは、

時間は最後の審判まで切れ目なく続くもので、毎年リニューアルされるなど思いもよらぬこと。年末の大掃除、新年の晴れ着、下着の新調の習慣もありません。

古代中国では、ご先祖に捧げたお供えを年末に食べる会がありました。日本でも平安時代、ご先祖のご加護を得るために宴会が開かれていました。「忘年会」という言葉は、原敬首相の時代には既に存在しており、あまり古い昔の事ではありません。この短期間で全国に広がったのは、よほど日本人の感覚に合っていたのだと思います。

幹事報告

1. 到着文書

- 倉吉東RCから創立50周年記念式典に会長と幹事で出席のお礼状。
- 鳥取中央RCから創立30周年の記念誌が届いています。

2. 例会変更・メーキャップ情報

クラブ名	日にち・受付会場	
鳥取西RC	12.20(金)	ホテルニューオータニ鳥取
鳥取中央RC	12.23(月)	ホテルニューオータニ鳥取
倉吉RC	12.24(火)	倉信うつぶき支店
倉吉中央RC	11.27(水) 12.18(水)	倉吉シティホテル
米子RC	12.20(金)	ANAクラウンプラザホテル米子

クラブ名	日にち・受付会場	
境港RC	12.17(火)	アジアンレストランアグニ

3. その他連絡事項

- 高知北訪問の決算が終わり、少し余りました。

委員会報告

◎出席率報告

11月19日 会員47名中 欠席13名 72.34%
 11月5日 補正後 欠席9名 80.85%

◎地域奉仕委員会白岩委員長より

明日の里山整備事業について、悪天候の為11/22(金)に日延べとなりました。時間は午後1時半開始、参加の方は午後1時に道の駅「きらり」に集合ください。

◎クラブ運営委員会福田委員長より

12/17(火)に恒例の年忘れ家族会を行います。
多数のご参加を募ります。

◎ゴルフ同好会白岩幹事より

11/17(日)の東部5RC合同ゴルフコンペは鳥取RCが優勝されました。当クラブの優勝は山根敏男さんです。次回の5RC合同コンペの当番は鳥取北RCです。

ビジター

鳥取西RC 廣谷全宣さん

メーカー

11/14 米子中央RC 大谷芳徳さん

*スマイル報告(本日11,000円 累計180,000円)

廣谷全宣さん(鳥取西RC) お世話になります。
小林弘尚さん 今年も残り少なくなりました。冬至までだんだん日が短くなります。日暮れが早いと寂しさが増してきます。雪の便りももうすぐです。風邪をひかずに、元気に年末家族会を迎えましょう。

宮崎正彦さん 日曜日に、布勢の陸上競技場で銀行の運動会のようなものが開催され、ブロック対抗リレーの第8走者として50m走りました。赤組が1位できたので、1位のまま次の走者にバトンタッチ。まだ走れると実感しました!

松本啓介さん 寒くなりましたが、金曜日は里山整備事業です。雨が降りませんように。

福田 収さん 急に寒くなりました。皆様、風邪などひかれませんように!

笹野眞紀さん おかげ様で、11月18日、スターライトバー・ソレイユが31周年を迎えることができました。今後ともよろしく願いいたします。早退2件、当日欠席3件

*2大御祝(本日2,000円 累計52,000円)

堀いづみさん 誕生日御祝

卓話

「米山奨学会について」

田村文男さん

米山奨学会の目的は、我が国の大学等教育機関に在籍する外国人留学生に対して奨学金を支給し、国際理解と親善と平和に寄与することです。日本RC独自の事業で、米山梅吉氏が述べられた「人々にしてほしいと、あなたがたの望むことを、人々にもそのとおりにしてほしい」という高い理念が基礎となっています。

これまでの奨学生の累計は129か国・地域、



21,024人にのぼります。日本の教育制度をもとにモンゴルの高等教育を改革されたジャンチブ・ガルバドラッハさんをはじめ、多くの優れた人材を輩出しています。

寄付の8割が奨学金に使われるなど事業趣旨に則した運営がなされております。また地区ごとの奨学生の割当や選考などは明確なルールに基づくもので、例えば、地区の割当数は、留学生数と一人当たりの平均寄付額に基づいて決められています。さらに、単に成績のみではなく、積極的に会員と交流する意欲を持つこと、将来、母国と日本の懸け橋として友好親善に務める意欲を持つ学生であることなども採用にあたって考慮されています。

米山奨学会についてご理解を深めていただけたら嬉しい限りです。皆様の暖かい寄付をお待ちしております。

「高知北RC交流会の旅」

笹野眞紀さん

11月9日～10日、高知北RC交流会の旅に総勢26名で行ってまいりました。車組4名、バス組22名の旅です。今年は8組の夫婦参加があり、いつも以上に和やかな雰囲気となりました。



朝7時に出発し、昼食は徳島のドライブイン「大歩危まんなか」で。吉野川の遊覧船に乗り、大歩危の紅葉を楽しんだ後、祖谷のかずら橋へ。渡る人、見学する人、ワーワーと賑やかでした。その後宿泊先の高知プリンスHを経て、会場の城西館に向かいました。例会では、高知北RC会員による演奏や歌などが披露され、お料理も、かつお一匹の姿盛り、高知の地元料理、デザート等大変素晴らしく、鳥取北RCの夜間例会にも大変参考になるおもてなしでした。

翌日は、仁淀ブルーで有名なこ淵、道の駅633美の里、名越屋沈下橋、土佐和紙工芸村QRAUDに立ち寄り、リゾートホテル海辺の果樹園で山海の品々の昼食後、黒潮CCでゴルフ組3名を乗せ帰途に着きました。午後8時着。バスの中ではいつも通りの楽しい会話とお酒が振る舞われ、ステキな旅は終わりました。

お世話になった福田さん、塚田さん、山根さん、そして小林会長、松本幹事、本当にありがとうございました。最後に一言、2日間晴天でした!!感謝です。

(担当 米田由起枝)